

文教再建に關する決議に對する田中文部大臣演説

衆議院本會 昭和二十一年八月三日

唯今各派共同の御提案に依りまする、文教再建に關する決議が成立致しましたのに就きまして、一言これに對しまする所信を被陳致しますことをお許し願ひます。

此の決議は正に、我が教育史上、並びに政治史上劃期的な、一大歴史的記念碑とも申すべきものでありまして、苟も職を文藝の府に奉じまする者にとりまして、これ以上の感誦、これ以上の感激はあり得ないのであります。

決議の指導原理となつてゐます所の、真理と人道とを目標と致しまする、教育の尊重と教育權の獨立とは、これ誠に、国内的には、各派が一致共同せられましたことに依つて明かになりましたやうに、實に政黨政派の差異を超越致しまする、教育の根本政策であります。それ等は更に國際的意義をも持つものでありまして、世界の先進文明諸國に於て均しく承認せられてゐまする、民族の差異を超越します所の、普遍人類的教育理念に照を投してゐるものであります。此の決議こそ正に世界各國の信譽と敬愛を得るに足ると存じます。

掲げられました六ヶ條の項目は、何れも現下の文教政策の死活問題とも申すべき程の、重要性を持つてゐますものでありまして、一々全く御同感至極であります。

教育制度の根本的刷新は、現下の急務でありまして、其の全面的検討と再建設の爲めに、内閣所管の、民主的を教育刷新委員會を設置致しまして、最近に發足しまする準備が整ひました。

青年教育の充實と振興は、國民道徳と教養の向上の見地からも感ぜられてゐます所でありまして、これは教育刷新委員會に附りました上、急遽に實現致し度い所存であります。

次に被災學校復興は目下の急務でありまして、これに新きましては、激算的措置其の他適切な方法を講じますことに依りまして遺憾なきを期し度、又社會教育、科擧教育並びに体育の充實振興に就きましても最善の努力を傾注致し度く存じて居ります。

又教育者養成機關の革新の御要望は、正に議場の輿論を反映してゐるものでありまして、これ亦前記の委員會に附りました上、速急に拘泥す

特に痛

ることなく、最善の方策を採求し、これを斷行致し置く存じます。

次に教職員の待遇改善でありますか、従来大多数の教職員が其の受けてゐました不正當な待遇に拘りませず、克く其の天職にふさはしい態度と品位とを守つて歩つた事績を、各位は深く御洞察に相成りまして、其の正途の斷行を御要望せられましたことは、此の問題に關し日夜苦慮致して歩りました我々と致しまして、衷心感謝の至りに存じます。幸に大藏省の理解ある協力を得まして、國民學校及び青年學校に就きましたは改定豫算に於きまして一般官公吏の水増までの待遇改善費を計上致し、又中等學校から大學までに就きまして同じ進歩を以ちまして待遇改善費を追加豫算に計上致す準備を進めて居ります次第であります。

次に教育の官僚主義化は、明治以來の弊障に徹しまして夙に諸君が痛感して歩つた我々教育界の積弊の一つとも申すべきものであります。此の官僚主義は我が教育の民主主義化の最大の障礙であること、既に天下の輿論と申しても贅言の如くなく、且つ又米國教育使節團の、好意に滿ちる者で買かれて居ります所の報告書が、日本教育の地方分權化を懇望致してゐます精神も此處に存するものと存じます。

此の問題の解決と致しましては、「教育は教育者自身の手によつて」と言ふ根本方針に基きまして、教育行政の全般的改革を断行しなければなりません。具体案と致しましては、地方教育行政に關しましては、文部省に於きまして、数ヶ月來外國の調査も亦著に致しまして研究して歩りました途程によりますれば、全國を數個の專區に分けまして、それに従來府縣に屬して居りました所の、人學其の他教育に關する権限をこれに委譲致し、專區の教育行政は原則として地方教育者の手に交つて運営するのであります。但し此の案は目下の所文部省内部だけの調査の程度のものであります。其の實現には廣く識者の意見を徵し又内務省其他關係各方面の理解と協力を要しますこと當然であります。文部省と致しましては是非此の問題を解決致す決心致して居ります。

然しなから教育の官僚主義化よりの解放は地方のみならず、文部省自身に於ても實現しなければならぬのであります。此の意味に於きまして、我々は、一方文部本省の地方教育に關する事項を劃一的監

皆を極力激發又は緩和致し、其の權限を大體に地方教育界に譲渡せしめ
すると共に、他方本省人事の方針と致しまして、第一級の教育の實際に
深い體驗を持つてゐる者を要な地位に充てる方向に此の上共努力致し
堅く存じて居ります。

茲に全國四下萬の教職員は、此の劃期的な決議が成立致しました今日、
此の日を、決して決して感謝と心からなる感激とを以て回報致しますこと
でありませう。又全國民は平和國家文化國家の建設の門出に最もふさは
しい、各國の情眼と敬愛とをかち得るに足る、此の歴史的な決議に對し
まして、心からなる喝采を送るに躊躇致さないことを我々は懸念するも
のであります。

我々は今、此の力強い御支持と御激勵とにお喜び申し上げます。是は、
此の決議案と賛成御演説の精神とを体し御懸念の各項目とを、文字通り、
忠實に、最大の努力を以て今後の教育政策の上に具体化し以て終戦後の
文藝省の昇亡しをすること以外には存しないことを確言致すものであり
ます。此の上とも各位の御同情ある御鞭撻を衷心御願ひ申し上げます。次

第であります。